

2026年 千葉開府900年 & 多古線全通100年



多古線全通100年

千葉開府900年



共催：多古町（企画政策課） ジェイアールバス関東株式会社

後援：千葉県 千葉市 成田市 匝瑳市 芝山町

千葉開府900年と千葉氏宗家終焉の地「多古町」

千葉県の礎を築いた千葉氏と多古町には、深い関わりがあることをご存じですか。大治元年（1126年）に桓武天皇の子孫である大椎常重（おおじつねしげ）が、現在の千葉市中央区亥鼻付近に本拠を構え、「千葉」を名乗ったことが千葉のまちの始まりだといわれています。これを「千葉開府」と呼び、2026年は千葉開府900年です。多古町には、千葉氏とのつながりや千葉氏に関連した山城が数多く存在しています。

千葉氏宗家最後の地



佐賀県小城市光勝寺に祭られている千葉胤貞像



分城跡にある妙見神社

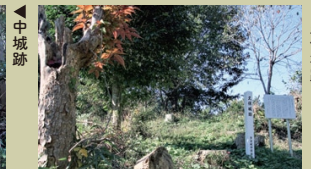


寺町の東禅寺にある千葉胤直らの墓

時は流れて室町時代中期、幕府の重鎮を務めていた千葉氏宗家十六代当主千葉胤直は足利氏と上杉氏の内紛に巻き込まれます。親類同士で争うこととなり、多古に逃げ延びてきた後、現在の島地区にある志摩城で対峙しますが、防戦の末、落城してしまいます。子どもである胤宣も多古城で応戦しましたが、再起叶わず自刃、その後逃げ延びた胤直も自刃し、千葉氏宗家は多古の地で最期を迎えることとなります。



数多く残る千葉氏の跡



多古町には千葉氏の信仰や文化に基づいた数多くの形跡が残っており、千葉胤貞が居館にしたとされる中地区の「久保城跡」やその久保城を守る防衛拠点とされる「中城跡」などがあります。また千葉氏には北極星・北斗七星を神聖視する「妙見信仰」があり、領地の周辺には関連する寺社が多く存在しています。多古町にも妙見神社がいくつかあります。胤貞は熱心な日蓮宗信者で、領地である現在の佐賀県小城市に光勝寺を創建しており、そこには胤貞の像が祭られています。

鉄道連隊とは

鉄道連隊は、明治期に旧陸軍に設けられた専門部隊で、戦時における鉄道の敷設・修復、橋梁建設、トンネル工事などを担いました。平時には演習として実際の地形を使った工事訓練を行い、その技術は地方鉄道や公共インフラの整備にも活用されました。千葉公園（千葉市中央区）一帯は、日本最初の鉄道連隊である鉄道第一連隊の演習地でした。ここでは橋脚建設やトンネル工事などの実地演習が行われ、現在も公園内に架橋演習用橋脚や演習用トンネルが残されています。

鉄道第一連隊の名残りマップ

旧陸軍鉄道連隊が明治41年（1908）、旧千葉町都賀村（現・千葉市中央区椿森）と津田沼町に設置され、大正7年（1918）の改編により千葉町に鉄道第一連隊、津田沼町に第二連隊が設置された。

鉄道第一連隊演習所は、現在の千葉公園綿打池付近から競輪場付近の一角にあり、架橋演習に使用したコンクリート製の橋脚や、トンネル工事演習に使用したコンクリート製ドームのほか、ウインチ台といわれるコンクリート塊などがあり、昔日の面影を今に伝えている。



荒木山の由来・解説板



荒木山の標柱（S8年建立）



鉄道第一連隊演習所跡・解説板



ウインチ台とされるコンクリート塊



架橋演習の橋脚跡
高さ4m幅5m奥行2m



隧道（トンネル）工事跡
高さ6m幅6m奥行5.5m

【2026年】千葉県営軽便鉄道「多古線」全線開通100年

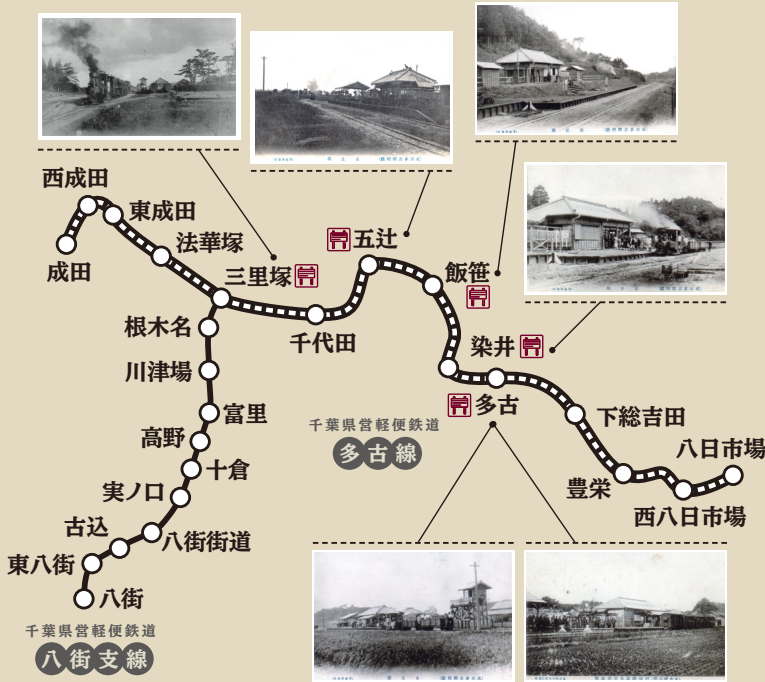
鉄道連隊の演習敷設と資材貸与を活用して建設された、日本初の地方公共団体による営業鉄道。その方式は全国の地方鉄道建設に影響を与えました。現在、多古方面へは、ジェイアールバス関東「多古本線」が、かつての鉄道の役割を継承して運行しています。

郷土の記憶を辿る：千葉県営軽便鉄道「多古線・八街支線」略史

明治44年	(1911年)	成田—三里塚—多古間が開業（軌間600mmで敷設）
大正3年	(1914年)	三里塚より富里・八街まで「八街支線」が開通
大正15年	(1926年)	多古—八日市場間が開通し全通。同時に改軌し、軌間1067mmとなる
昭和2年	(1927年)	成田鉄道へ譲渡され、県営鉄道としての役割を終える
昭和14年	(1939年)	八街支線が休止・廃止となる
昭和19年	(1944年)	戦時下の資材供出により、多古線も全線で運転休止し、その後廃止

2026年 多古線全通100年プロジェクト

【各地の看板例】



多古本線情報



【認定無料押印や関連グッズ購入は、チャレンジショップ「えんがわカフェ」で!】

【認定無料押印や関連グッズ購入は、チャレンジショップ「えんがわカフェ」で!】

2026年7月より、このプロジェクトの体験ツアーに参加した方や、JRバス関東「多古本線」に乗車した方は、スマホ等でバスや車内での自身の写真をお取りいただき、「えんがわカフェ」でスタッフにご提示ください。先着300名に無料で「多古本線乗車記念証コースター」に認定印をしてお渡します。

- 住所: 千葉県香取郡多古町多古2727 (旧吉岡青果店)
- ・JRバス関東 多古本町バス停/多古仲町バス停 徒歩1分
 - ・空港シャトルバス 役場前バス停 徒歩6分
- 営業日は不定期です。ご来店の前に、営業日・営業時間をご確認ください。
お問い合わせ: 080-5375-1290 (加藤)



最新情報や本のダウンロードは公式ページから

多古線100年



今後のイベント予定

- 8月16日(日): 千葉の親子三代夏祭り (千葉市中央公園周辺)
- 9月20日(日): バスの日記念文化祭 (多古町コミュニティプラザ)

2026年「千葉開府900年&多古線全通100年」記念文化祭

- 午前: 「千葉氏宗家終焉の地」ミニツアー
 - 午後: 「鉄道連隊と多古線」講演
- 各ルームで展示やワークショップ



鉄道連隊 未来から来た線を繋ぐ者 第一話 多古線 (短編小説)
2026 千葉開府900年 x 多古線全通100年



「鉄道連隊 未来から来た線を繋ぐ者 第一話 多古線」
アマゾン Kindle / GooglePlay ブックスで無料公開中。
千葉公園、三里塚-五辻-多古を舞台にした短編小説です。

2026年「千葉開府900年&多古線全通100年」プロジェクト

共催 多古町(企画政策課) ジェイアールバス関東株式会社 後援 千葉県 千葉市 成田市 匝瑳市 芝山町 協力 軽便鉄道を考える会 in富里 代表 岡野肇

企画・制作 多古町地域おこし協力隊 / 成田空港リトリート 齊藤常治 お問い合わせ 多古町企画政策課 0479-76-5417